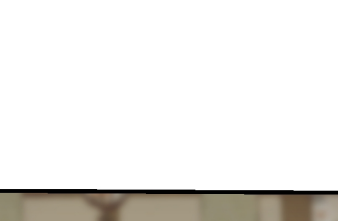




金台国

玉雲観



陳霖様
ついに完成
なされたのですね!!



これは間違いなく
我々が
求めていたもの



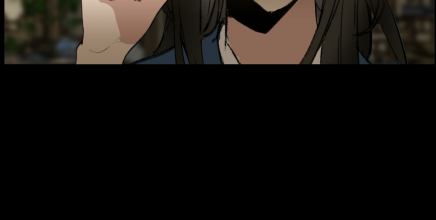
ですが
この量では

せいぜい一人の
人間の傷を癒す
ことができる程度



我々が
神仙に至るには
少なすぎる

でしたら



皇帝により多くの
罪人をよこすように
上奏してみても
如何でしょう



ですがそれは
あまりにも
非道では
ありませんか？



確かに
この方法で
作られたものは

私たちが
求めていた
効能を持ちますが



これだと
多くの人を
犠牲にする
必要がある

これは王の
勅命であり
我らの悲願でも
あるのですよ

それになにも
無辜の民草を
犠牲にしようなどと
言っているわけでは
ないのです

陳霖様の
ご意見を伺いたい

確かに
丹薬の大成は
王からの
勅命でもある

しかし

誰かを
助けるため
とは言え

人の命を
犠牲にするなど

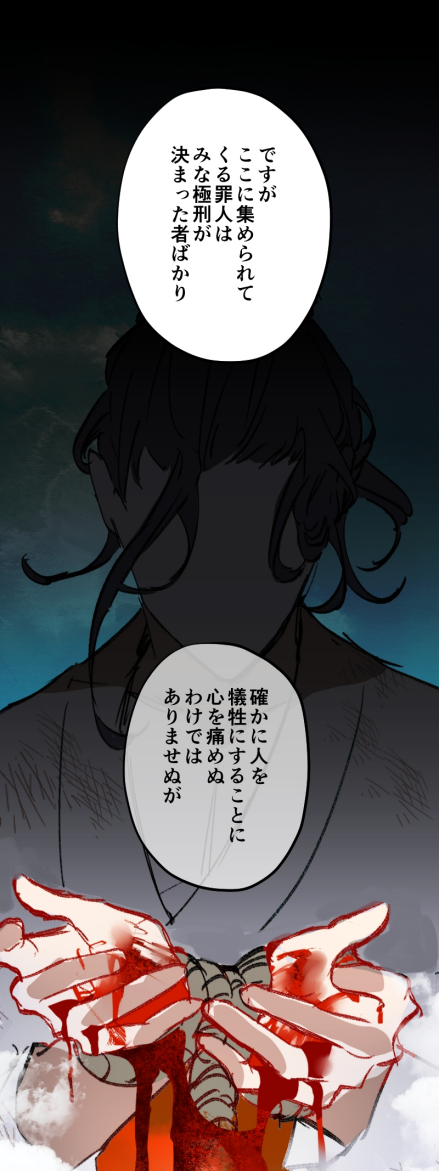
あって良い事
なのだろうか

他にもなにか
別の方法が
あるかもしれない

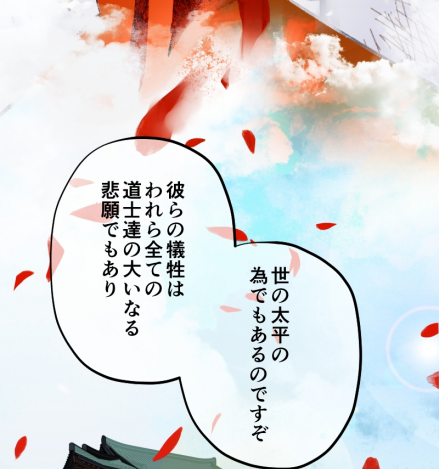
私はもう少し
実験を続ける
べきだと思います

たとえこの方法で
完全なる丹薬を
作ることが
できたとしても

対価が大きすぎる



ですが
ここに集められて
くる罪人は
みな極刑が
決まった者ばかり



確かに人を
犠牲にすること
心を痛めぬ
わけでは
ありませんが

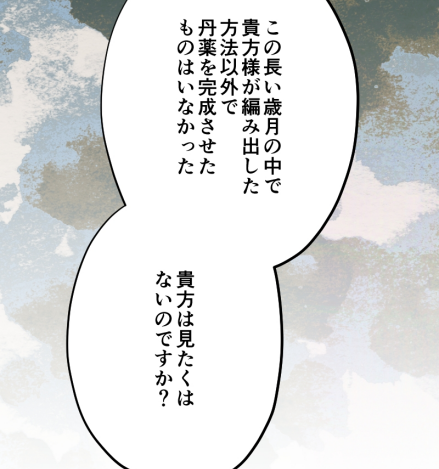


世の太平の
為でもあるのですぞ

彼らの犠牲は
われら全ての
道士達の大きな
悲願でもあります



それに
この手法を
編み出したのは
沈暁様では
ありませんか



この長い歲月の中で
貴方様が編み出した
方法以外で
丹薬を完成させた
ものはいなかった

貴方は見たくは
ないのですか？



本当の丹薬を



ですが……



今世間では
疫病が流行り
病に苦しむものが
多くいます

これがあれば
彼らを助けられる
のは事実です

しかし
それを選択
するべきなのは
鍊丹術を大成
された

貴方だと
私は考えます

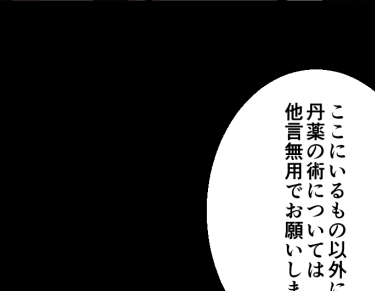


陳霖様

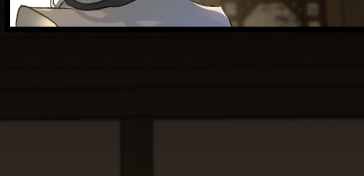


……

：この件について
はよく考えて
明日また話しましょう



ここにいるもの以外に
丹薬の術については
他言無用でお願いします



天理人

天

理

の

石

原作／漫画：辰砂



雪雲が厚いから
今日は雪が
積もりそうだ

師匠
ですよ！

本当だ

雪雲が厚いから
今日は雪が
積もりそうだ

今日はこのあたりで
宿を取りましようか

じゃあ今日は
暖かいご飯と
ふかふかの布団で
眠れるのですね！

ええ
何か食べたい
物でもありますか？



甘いもの！
それと
蓮餡の
饅頭！

楊文は本当に
甘味が好き
ですね…

はい！

そういえば
覚えていますか？



うん？



師匠が私を
助けてく
ださった日も



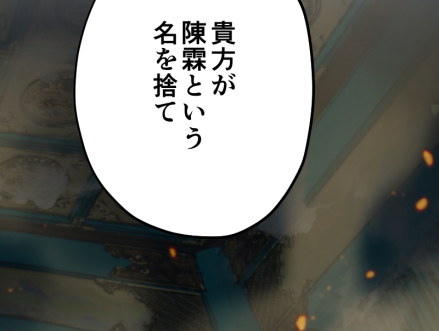
初雪が降る
寒いだった



師匠
そろそろお話し
くださっても
いいんじゃない
ありませんか？



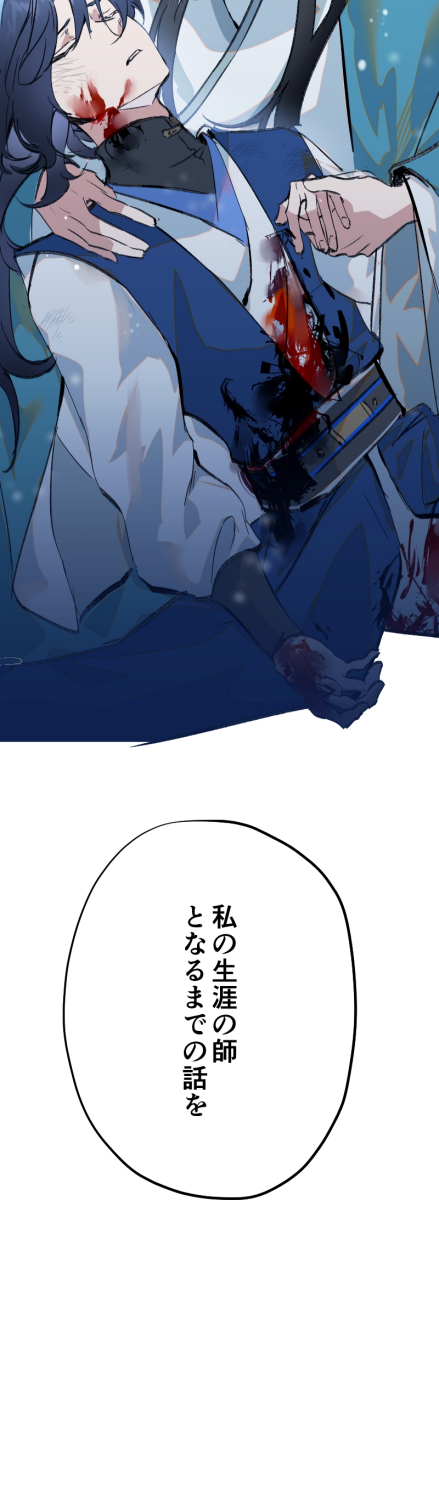
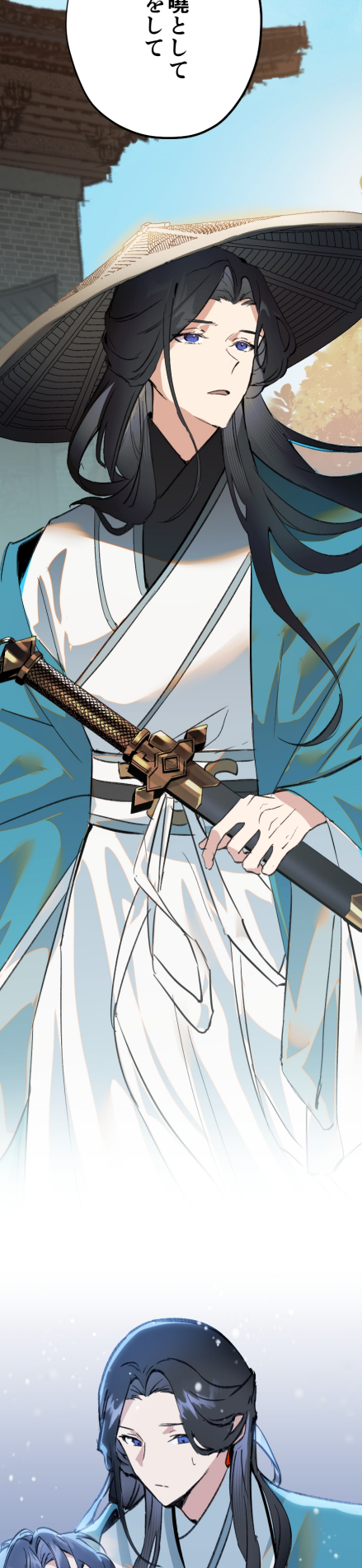
以前貴方は
私をもっと
立派な人間に
なったら話して
くださると
仰った



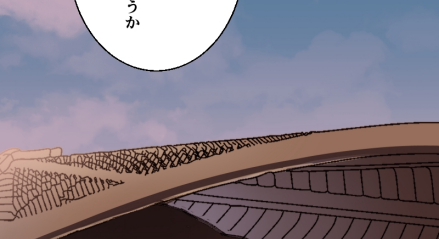
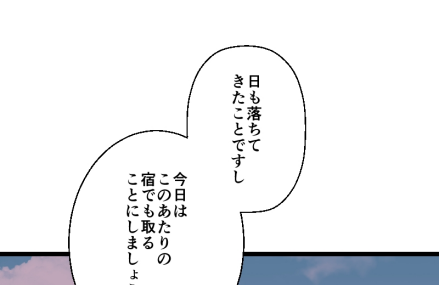
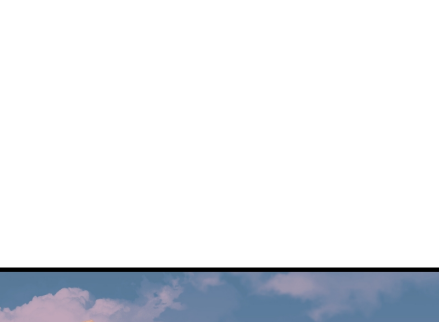
貴方が
陳霖という
名を捨て



沈暁として
旅をして



私の生涯の師
となるまでの話を





それにしても
このあたりは

異様に
陰気が強い



街には活気が
あるというのに
おかしい



まるで墓地の
近くにいるように
薄寒い



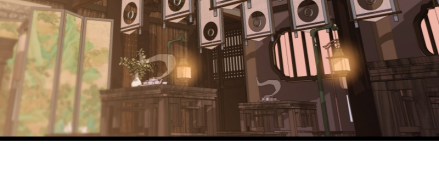
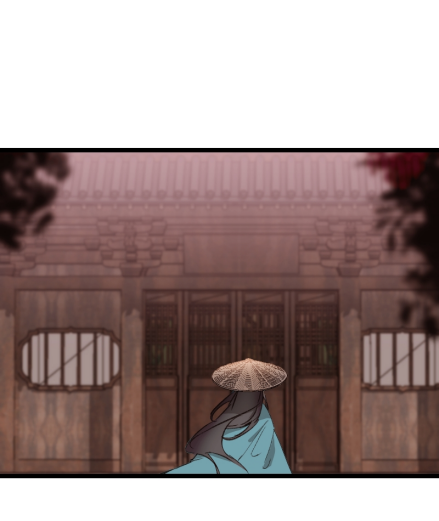
山の方に
なにかあるのか？

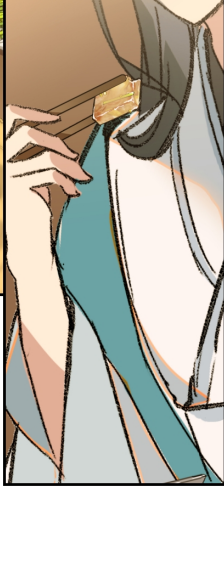
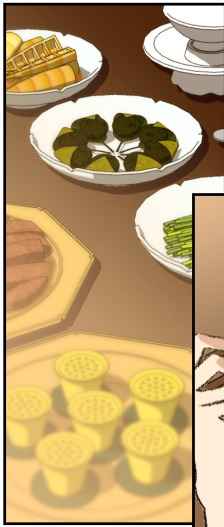


今日は日が
暮れるから
村の人に
話を聞くだけに
して



何かあるようなら
明日様子を見に行こう





お嬢さん

最近このあたりで
変わったことは
ありませんでしたか？



変わったこと
ですか？

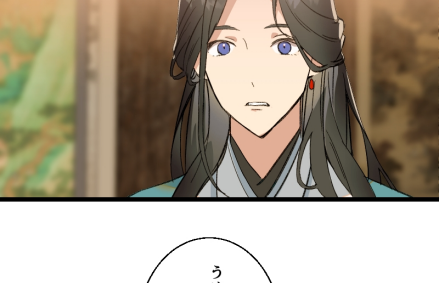
特別そのような
事は……

ああ

そういえば

最近東の
森の中から
うめき声が
聞こえるという

気味の悪い
噂があったような



うめき声ですか？



あの辺りには
以前の御堂が
あったのです

今ではずいぶんと
廃れてしまつて
立ち入らないので

きつと誰かが
獣の鳴き声を
聞き間違えた
んでしょうけどね



……ふむ



古い堂

……ですか

